

# 宮城県中学校総合体育大会軟式野球競技 COVID-19 感染拡大予防ガイドライン

令和3年6月29日

宮城県中学校体育連盟軟式野球専門部

## 1. 大会全般について

- (1) 本大会は、宮城県中学校体育連盟大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン並びに本ガイドラインを適用して行う。
- (2) 大会の開催可否は、主催者（宮城県中学校体育連盟、宮城県教育委員会）の判断による。
- (3) 本大会が実施されなかった場合、東北大会へ出場するチームの決定方法は別に定める。
- (4) 選手、部員、引率者及び監督、コーチ、競技役員、審判員、報道関係者、観戦者等は「健康チェックシート（様式1-1）」を大会本部に提出する。
- (5) 観戦者は、出場チームの関係者（部員、家族、教職員）のみとする。なお、今後の感染状況によっては、宮城県中学校体育連盟及び同軟式野球専門部申し合わせ事項により、制限を加えることや無観客とすることがある。また、各会場の施設管理者によって入場規制等の措置が取られる場合は、観戦者の制限が会場によって異なることがある。
- (6) 参加チームは、健康チェックシート（様式1-1）に加えて、「学校同行者一覧表（様式1-2）」も大会本部に提出する。
- (7) 参加者は移動時や観戦時など、競技以外の時にはマスクを着用する。

## 2. 競技について

- (1) 2試合目以降のチームのベンチ入りは、ベンチ入口から離れた場所で待機し、前の試合のチーム全員が完全に退場してから入場する。
- (2) 監督、コーチ、選手等は、ベンチ入り後から試合終了後までベンチ内に設置されている消毒液をこまめに使用し、予防に努める。
- (3) チームで使用する用具の消毒液は、各チームで準備する。また、以下のことに留意する。
  - ① チームで共有するもの（ヘルメットやバット等）は、こまめに消毒する。
  - ② キャッチャーマスクは共有しない。
- (4) 感染症予防のため、以下の行為を禁止する。
  - ① 水分補給のためのコップの共有やペットボトル等の回し飲み
  - ② 試合前における密集状態（円陣等）での声出しやチームパフォーマンス等
  - ③ 試合開始および終了時におけるホームベース付近での整列及びあいさつ
  - ④ 素手でのハイタッチや握手
  - ⑤ グラウンド内に痰や唾を吐く
  - ⑥ 球場内の更衣室利用
- (5) 引率者、監督、コーチ等は、原則マスクを着用する。
- (6) 選手は常にマスクを携帯し、以下の場合はマスクを着用することが望ましい。
  - ① 試合前の攻守決定時
  - ② ベンチ内でソーシャルディスタンスが確保できないとき

- (7) 試合中、マウンド周辺に集合し会話をする際は、グラブを口に当てる。
- (8) 競技中のマスク着用は各選手の判断とするが、着用する場合は熱中症に注意する。

### 3. 応援について

- (1) 観戦者は、間隔を1 m以上（座席が設置されている場所は1席以上）空けて、マスクを着用して観戦する。
- (2) 観戦する際は大声を出さず、拍手のみでの応援を基本とし、メガホンや拍手でリズムをとるような一斉応援は行わない。
- (3) 観戦は、自チームの試合のみとする。自チームの試合終了後は、速やかに退場する。
- (4) 家族の観戦者は、学校名を表記した名札を各自（各校）で用意し、体の前面へ身につける。

### 4. 運営に関して

- (1) 競技役員及び審判員は、会場で検温を行い、発熱・咳・咽頭痛・倦怠感等の症状がある場合は参加しない。
- (2) 競技役員は常にマスクを着用する。
- (3) 球審は原則マスクを着用する。イニング間にはこまめに水分補給をするなど、熱中症予防に努める。また、塁審はマスクを着用しなくともよい。
- (4) 観戦者の入退場口は基本各1つずつとし、入退場者が交わらないようにする。
- (5) 各ベンチ内及び入退場口には消毒液を設置し、定期的に補充する。
- (6) 大会本部や放送室、記録室が密集状態とならないように努める。
- (7) チームごとの待機場所を指定し、参加チーム同士が密にならないようにする。
- (8) 競技役員は定期的に観戦スペースを巡回し、観戦者の掌握や応援の仕方などを確認する。

### 5. その他

- (1) 会場内における昼食等の飲食時は、人同士が対面することを避け、会話を控える。また、互いに十分な間隔（1 m以上）を取る。
- (2) 感染症対策と同様に、熱中症対策や食中毒対策も各チームで徹底して行う。
- (3) 大会参加前、大会期間中、大会終了後2週間以内に感染者等が確認された場合は、各学校長が宮城県中学校体育連盟会長および同軟式野球専門部会長へ速やかに連絡する。
- (4) 万が一、感染者等が確認され、大会への参加が不可能となっても、チームや選手個人を誹謗・中傷したり、非難したりするような行為は行わない。
- (5) 本ガイドラインは、新たな知見の集積及び当該地域における感染状況等を踏まえ、随時修正する場合がある。

上記の内容は、以下の関係団体ガイドライン（資料）等を参考に作成しました。

- ・一般財団法人全日本野球協会
- ・公益財団法人全日本軟式野球連盟
- ・宮城県高等学校野球連盟
- ・宮城県中学校体育連盟